

令和8年2月13日発行

発行：おかやま酪農業協同組合

責任者：小椋 孝史

津山市川崎94-1

☎(0868)26-1101

令和7年度

「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



最優秀賞 県知事賞 岡山市立操山中学校3年 藤岡 茉央
(絵の説明)

牛と人とのつながり、そして自然の恵みである牛乳を大切にしたい気持ちを表しました。「牛乳飲モ」の文字は牛の鳴き声「モー」を取り入れることで、楽しく親しみやすい雰囲気を出しています。



おかやまミルクカップ2025開催！(U-8サッカー大会)

令和7年12月27日、年の瀬の迫った寒空の下、岡山県総合運動公園補助陸上競技場(岡山市北区)でスポーツを通じて牛乳・乳製品をPRし消費拡大につなげようと、おからく岡山県酪農乳業協会の主催で初めてのサッカー大会を開催しました。

8歳(小学校2年生)以下のキッズが対象で、前後半合わせて20分の試合を3回、午前の部と午後の部に分けて行いました。参加チームは合計16チーム、約150名が参加。ルールは「審判もオフサイドもコーチからの指示もなし」。サッカーで思い切り体を動かすことを楽しんでもらいました。

サッカーの後は、相手チームを選手同士でたたえ合う交流会(アフターマッチファンクション)です。この時、「おやつと牛乳でカンパイ!」。相手の良いところを褒め合って、すぐに仲良くなっています。この日は冷たい風の強い日でしたが、子どもたちは元気いっぱい。「今まで飲んだ牛乳の中で一番おいしかった!」という声も。学校が休みの日にもしつかり牛乳を飲むようにPRしてきました。

最後に、牛乳をたくさん使った温かいコーンスープを無償提供。子ども

もただだけでなく、コーチや保護者の方にも飲んでもらって「土日ミルク」の理解を呼び掛けました。

初めての企画で、運営が上手くいくのかギリギリまで心配もありましたが、岡山県サッカー協会キッズ委員会も共催してくださり、創志学園高校のフットサル部が試合の進行をしてくださいました。準備段階から当日まで、多くの皆さんに協力していただいたお陰で充実した1日になりました。

今後はサッカーだけでなく、違う競技でのスポーツ大会開催等、新しいことにも挑戦しながら酪農や牛乳・乳製品の魅力を発信していきたいと思えます。

なお、この日のようすはおからの公式YouTubeチャンネルでも配信していく予定です。編集が終わるまで楽しみにしていてください。(生乳課)

おかやま酪農協同組合公式 YouTube
 「おかやまミルクチャンネル」はじめました。



OKAYAMA MILK CHANNEL

1. 二次元コードからアクセス
2. 「チャンネル登録」ボタンをタップ



交流会のようす



のびのびプレー!!



みんなで記念撮影。楽しい思い出になりました



「供卵牛情報と採卵計画（3月分）」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

3月の採卵計画をお知らせします。ご利用の場合より詳細な情報が必要な場合は、最寄りの家畜保健衛生所、受精卵移植師の方等にご相談ください。なお、能力評価を牛群検定成績から行うため、検定参加農家の方を譲渡対象としています。また、採卵予定日や交配予定種雄牛については、急遽変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。次回の採卵は4月9日を予定しています。※ご要望・ご意見等ありましたら、畜産研究所までご連絡ください。

【優良牛】（選別性判別無し@32,560、雌判別@43,450）	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
<p>♀：OAC ウエストジェット コルト ウルル ET 登録番号：13909 7320 2 輸入卵産子、総合指数・産乳成分に優れた 体型小さめ</p>		3 / 5
<p>♂：トウルーパー (614H15179) 米国6位 乳成分に優れた 乳器、肢蹄が良好でロボット向き</p>		

在庫卵情報（在群上位牛、ダイレクト凍結卵）

R 8年1月末時点

採卵牛	総合指数	順位	系統	種雄牛	TPI	NTP	在庫数	
ウルル	1390973202	3283	1%	ウエストジェット	オーウエン (♀) 777H12666	3085	-	6
					エンパワー (♀) 629H20939	3080	-	7
					レネゲード (♀) 550H14134	3064	3526	3
					トウルーパー (♀) 614H15179	3277	3662	4
キャップ	1509873645	3104	1%	チャシテイ	パースーツ (♀) 777H11186	3043	3162	6
キキ	1390973127	2983	3%	キャロットK	パーフェクト (♀) 507H15085	3120	3155	3
リア	1390973165	2983	3%	リラZ	トウルーパー (♀) 614H15179	3277	3662	4
キルト	1354871971	2945	3%	キャロットK	レッチワース (♀) 550H16110	3155	3048	4
キヤスト	1354972036	2917	4%	キヤメロン	デデイケート (♀) 551H3590	2991	2756	3
キール	1655873834	2785	10%	キヤメロン	レネゲード (♀) 550H14134	3064	3526	2
プリン	1536996850	2703	16%	ペニア	カワイイ (♀) 511H16334	3298	-	8
					オラフ (♀) 511H15088	3058	3502	6

全て選別精液ダイレクト凍結卵
その他、性判別雌卵（ガラス化保存）等もありますのでお問い合わせください。



年間の飼養管理計画は いつを基準としてスタートしたらよいのか？ ～春分の日（今年は3月20日）を基準とすると見えてきた～

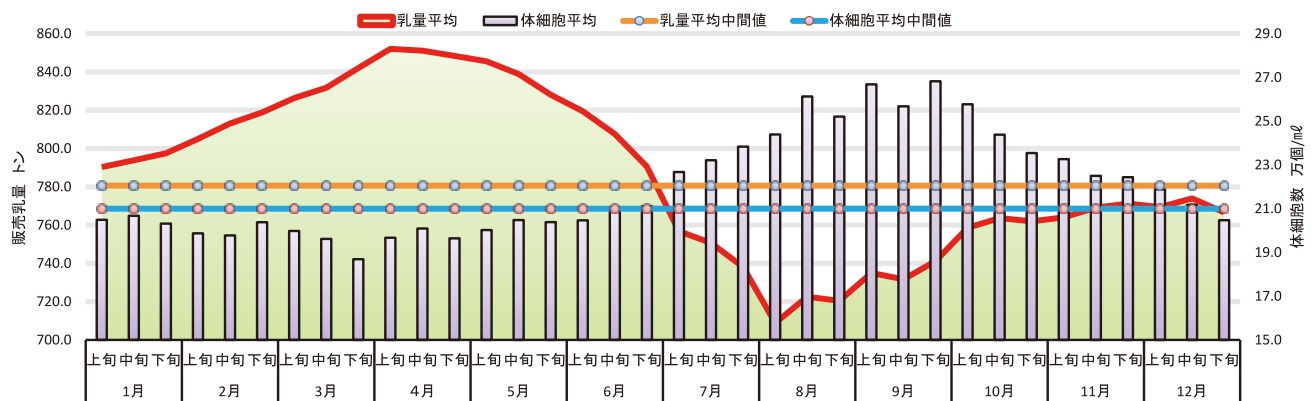
全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 購買畜産課 牛島 隆一

日々の営農ご苦労様です。この時期は事業者にとっては、個人事業主決算1月～12月、おかやま酪農協4月～3月、事業スタートになる基準となる時期です。酪農現場を巡回しておりますと、「飼養管理の改善はどこから手をつけたら良いのか？」と相談を受けます。酪農の飼養管理においては1年365日、日々切れ間ない事と、乳牛の分娩を境にどのステージから手をつけたら良いのか？回答に悩まされるところです。乳牛の光周期の研修を受けた際、長日周期と短日周期が乳量・育成牛の成長・分娩後の乳量立ち上がり大きな影響を与えることを学びました。

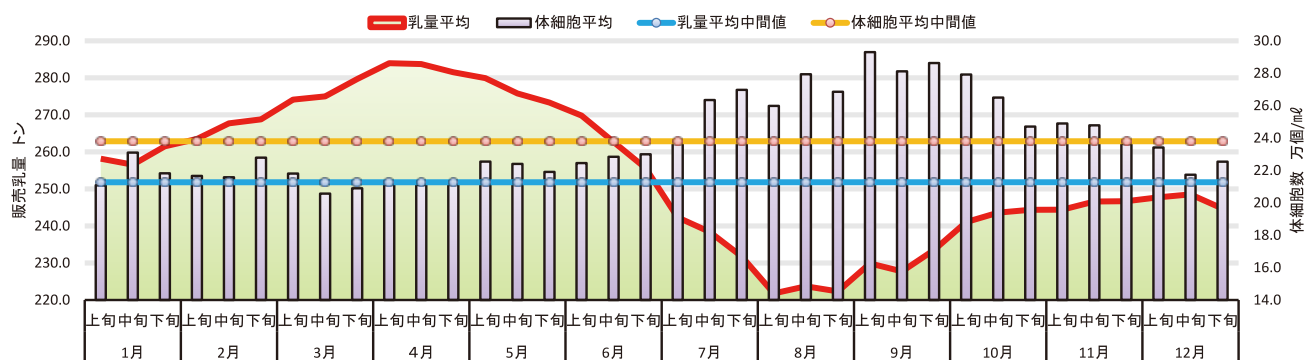
光周期は、太陽を中心とした地球の公転による季節の移り変わりが大きく影響しております。この公転を15度ずつの動きを季節の変化として表現したのが二十四節気暦です。この暦では昼と夜の割合が50：50になる春分・秋分を基準としています。今回、県内の年間販売乳量及び平均体細胞数の傾向等と光周期を合わせて検証しましたが、考察および「春分」を基準とした飼養管理計画提案をさせていただきます。

◆中国5県と岡山県の年間販売乳量と体細胞数の旬別推移について

令和4年～令和7年 中国5県年間販売乳量 体細胞数 旬別推移グラフ



令和4年～令和7年 岡山県年間平均販売乳量 平均体細胞数 旬別推移グラフ



中国5県と岡山県の販売乳量及び体細胞数の推移は、ほぼ同様の傾向です。

乳量は3月下旬をピークに、5月中旬のゴールデンウィーク過ぎから乳量は下降して、8月上旬に最下点となります。平均中間値を基準とした場合、10月上旬から販売乳量は回復傾向になりますが、7月上旬から12月下旬までは中間値を下回ります。1月上旬から6月末までが中間値を上回る状況です。

年間販売乳量平均中間値との比較では、7月上旬から中間値を割り始め、9月以降に徐々に回復するが12月下旬まで中間値を下回ります。

(中国生乳販売旬別乳量データ等より引用)



◆乳牛光周期管理について

乳牛は日長の変化をホルモンで感知する動物です。

乳牛の光周期とは、1日の中で光と暗闇が交互に入れ替わる時間のことを指します。

日長時間＝昼の長さを長日管理期と短日管理期に分けて管理することを指します。

・長日管理＝明期16時間：暗期8時間

プロラクチンホルモン分泌が促進されます。

*短日管理に比べて乳量が約2kg/日増・成長ホルモン増・採食量増等の報告があります。

(出典：全酪連大阪支所『乳牛と照明についての勉強会』令和7年7月12日資料より引用)

・短日管理＝明期8時間：暗期16時間

メラトニンホルモンが分泌され、プロラクチンを抑制するため、乳量は低下傾向となります。しかし乾乳牛を短日管理で飼養すると、泌乳期間中にプロラクチン受容体の発現量が高くなり、分娩後の乳量が高くなる傾向にあります。

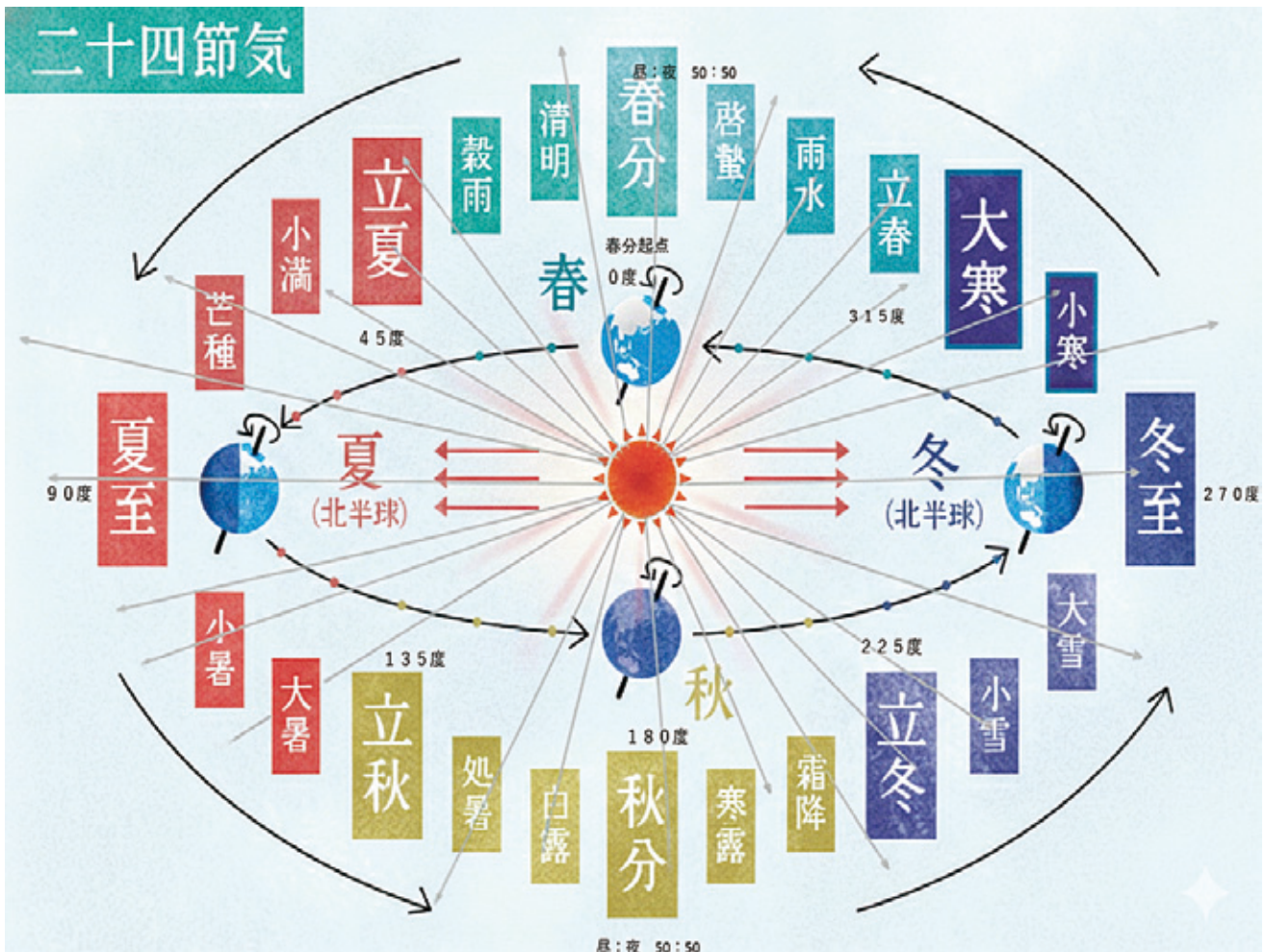
*長日管理された乾乳牛に比べ、分娩後乳量が約3kg/日増・乳腺組織回復等の報告あり。

暑熱ストレス同様、長日・短日管理は岡山県の年間販売乳量に影響を与えていると考えられます。

(出典：ラクトシステム株式会社 光周期コントロールについて

乳牛における光周期コントロールの恩恵 乾期における光周期の役割より引用)

◆地球の公転と二十四節気について



(グーグルAIソフト Geminiで作成)

二十四節気

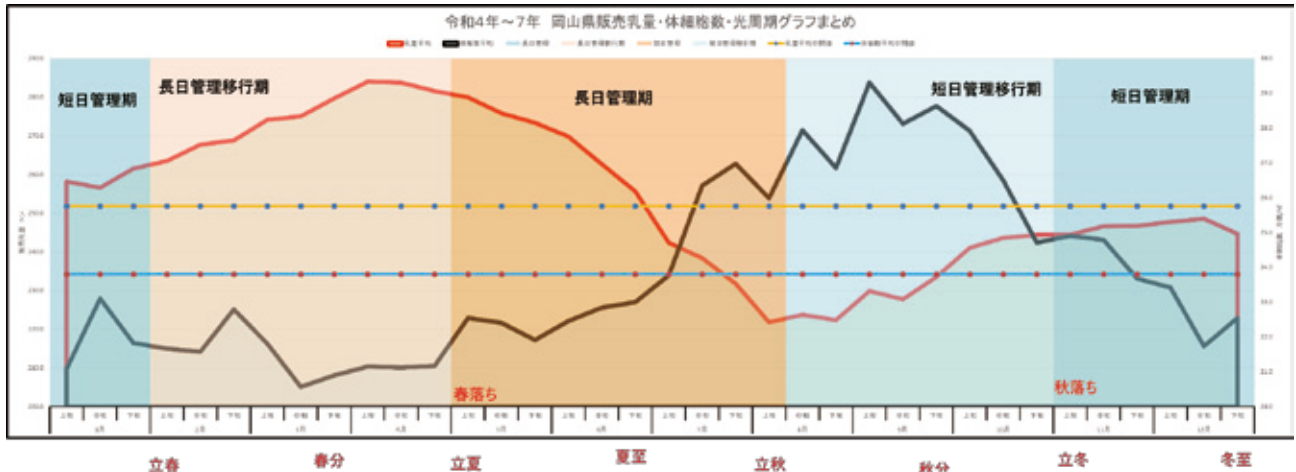
暦は地球が太陽の周りを公転する軌道（横道）を360度としています。1周360度を15度ずつ24等分して、決まる季節の節目です。春分を起点に約15日おきに配置され、地球の地軸の傾きにより生じる四季の移ろいを細かく詳しく反映させています。



起点となる「春分」0度 昼：夜（5：5）、「夏至」90度 昼が一番長く夜が短い 昼：夜（6：4）、
「秋分」180度 昼：夜（5：5）、「冬至」270度 昼が短く夜が一番長い 昼：夜（4：6）

*この4点は四季（春・夏・秋・冬）の中間にあたり、季節の移り変わりは「立春」「立夏」「立秋」「立冬」四候となります。今回、この四候の間を光周期の「長日管理」・「短日管理」に合わせています。「立春」⇒「穀雨」までを「長日管理期移行期」、「立夏」⇒「大暑」までを「長日管理期」、「立秋」⇒「霜降」までを「短日管理期移行期」、「立冬」⇒「大寒」までを「短日管理期」と分けました。

岡山県年間販売乳量及び体細胞数の推移に光周期グラフ化のまとめ



1. 3月下旬（春分）乳量は最高となります。
2. 5月上旬（立夏）より乳量が急激に落ち始めます。（春落ち）
気温上昇による暑熱ストレスの始まり、気温の寒暖差。
長日管理期への移り変わりで、ホルモンバランスの崩れと気温の寒暖差により乳量減少・乳成分減少が起きやすいと考えられます。また、分娩後60日前後の牛に起きやすい傾向にあると思います。
3. 6月下旬（夏至）1年で一番昼が長く、気温も上昇し暑熱ストレスにより、乳量の減少および体細胞数が増加傾向にあります。
4. 8月上旬（立秋）短日管理期移行期となり、乳量は最下点になり、高気温により暑熱ストレスがピークとなります。
5. 9月下旬（秋分）で暑さが少しおさまり、夜も涼しく乳量増と体細胞数減の傾向となっています。
6. 11月上旬（立冬）より短日管理期への移り変わりで、ホルモンバランスの崩れと暑熱の疲れにより、乳量回復が停滞しています。
7. 12月下旬（冬至）は1年で一番昼が短く、3月下旬春分まで短日管理期ですが、乳量の増加、体細胞数の減少が見られます。

◆春分までの対策事項

1. 暑熱マンダラチャート（令和7年7月号 おからく組合だより記載）を確認して、昨年の課題を抽出して準備を進める。（おかやま酪農協生産支援課・全酪連中四国事務所 岡山県担当へ相談）
2. 今までに使用経験のない、輸入乾草・粕類等のお試し使用と嗜好性・乳量反応等の確認。（第一胃ルーメン微生物の切り替わりと菌叢の安定化に1ヶ月かかるため）
3. 自給飼料在庫数の確認と、飼料分析し効率の良い使用順序と給与量の策定。（春落ち対策）
4. 夏分娩対策として、4月～5月乾乳牛になる乳牛へ暗闇の場所確保・場所づくり・乾乳舎レイアウト見直し。（夏分娩牛の乳量安定化時期 分娩後100日泌乳牛の秋落ち対策）
5. 夏用の給与メニューを策定し、春分の週から給与を始めて、暑熱ストレスに陥りはじめる5月中旬からの暑熱対応に備える。

◆まとめ

岡山県の年間販売乳量及び体細胞数の検証では、地球温暖化による暑熱ストレスの影響が第一要因だと考えられます。暑熱ストレスに次いで、光周期は第2要因と言ってもいいほど乳牛に影響を与えていると思われます。この状況は、岡山県だけではなく、中国5県でも同様の傾向が見られました。



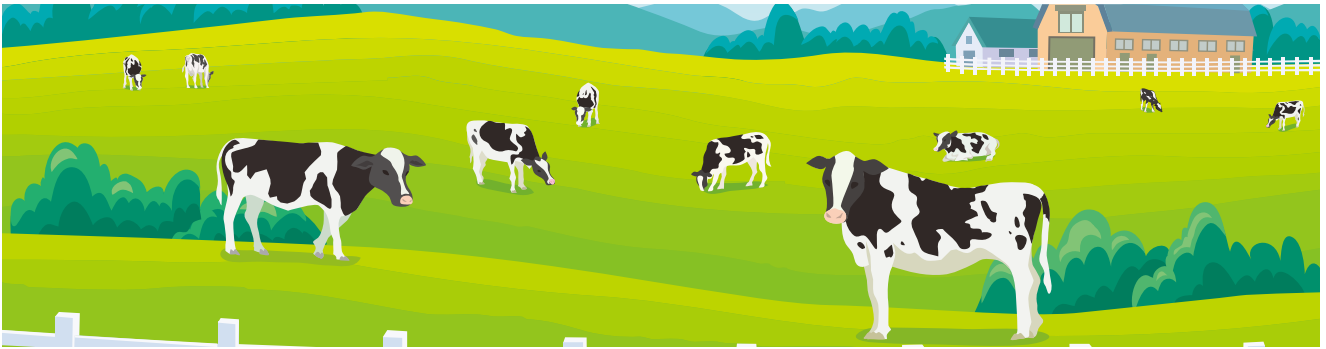
これは、毎年毎年同じ状況を繰り返しているように感じます。

この地球の公転一周360度として、春分を起点とし15度ずつずらして季節の変化を細かく表現した「二十四節気」に基づく飼養管理スケジュール作成は有効であると考えます。

短日管理期につきましては、ライトコントロールの普及により対策する農場は増えてきていると思います。

しかし、7月～9月の夏分娩牛の乾乳期にあたる5月～7月の乾乳牛は長日管理期に当たり、対策があまり施されておりません。この牛たちへの暑熱ストレス対策と暗闇の提供が課題となります。

今回、岡山県の販売乳量および体細胞の推移と光周期との「春分」を基準とした飼養管理計画を提案したこの記事に関するご意見等をいただけたら幸いです。



陳情のようす

岡山県議会への要請活動について

1月15日、県酪農政治連盟は、三宅委員長、山本副委員長、東山副委員長、小村副委員長、檜尾組合長、事務局の7名が岡山県議会を訪問し、遠藤議長、小林副議長と面談し、要請活動を行いました。

三宅委員長が遠藤議長に要請書を手渡し、要請内容について説明しました。遠藤議長と小林副議長は酪農情勢を十分理解されており、特別交付金から酪農予算の増額を要請しました。

県酪農政治連盟では、今後とも国、県等への要請活動を通じ、酪農窮状を訴え、酪農情勢の改善に取り組んでまいります。

(県酪農政治連盟)

びほく地区女性部総会開催

1月29日、「びほく地区女性部総会」が高梁市「モランボン」で開催されました。

総会は大倉部長の挨拶により開会し、来賓の皆様よりご祝辞をいただきました。

その後、議



楽しいひととき。お肉も会話も進みました

事に入り、第1号議案から第5号議案まで、すべて原案通り承認されました。総会終了後の懇親会では、おいしい焼肉に舌鼓を打ちながら、日頃の疲れを癒す楽しいひとときを過ごし、会話も大いに弾みました。今年には役員改選の年で、全員が初めて役員を務めるフレッシュな体制となりました。新しい風を吹かせながら、これまで以上に元気でパワフルな活動を行っていきたくと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

最後になりましたが、ご多忙の中ご出席いただきましたご来賓の皆様、女性部員の皆様に、心よりお礼申し上げます。

(びほく事務所)



女性部全体交流会

おからく女性部は令和7年12月8日、岡山県倉敷市のレストランボンヌフにおいて「第17回おからく女性部全体交流会」を開催しました。今回は、(一財) ヨグネット代表理事で、SNSなどを通じて日本各地のヨーグルトの魅力を発信されている向井智香様をお招きし、「日本



交流会に参加された皆さん

のヨーグルト食文化の未来に向けて」と題してご講演いただきました。講演では、日本のヨーグルトの歴史や食文化、健康との関わりについて、身近な話題を交えながら分かりやすくお話しいただきました。また、酪農家と消費者をつなぐ役割の大切さや、日々の暮らしの中でヨーグルトを楽しむ工夫についても紹介され、参加者は終始うなずきながら聞き入っていました。

講演後には、「ヨーグルトの見方が変わった」「毎日の食事にもっと取り入れてみたい」といった声が聞かれ、和やかな雰囲気の中で、学びの多いひとときとなりました。

なお、今回の全体交流会の開催にあたり、(一財) おからく教育振興会より参加助成をいただきました。心より感謝申し上げます。

おからく女性部では、今後もこうした活動を通じて、交流の輪を大切に広げていきたいと考えています。

(おからく女性部一同)



フレッシュユミズ視察研修

令和7年12月11日、広島県東広島市の有限会社トムミルクファームにおいて、おからく女性部の若手女性を対象とした「フレッシュユミズ視察研修会」を開催し、14名が参加しました。

当日は、社長の沖正文氏から、幼い頃より牛や小動物に親しみ、自然な流れで酪農を継がれるに至ったこれまでの歩みについてお話を伺いました。牛舎の整備や堆肥処理施設の導入など、地域や環境に配慮した経営に加え、食育活動や6次産業化への取り組みも紹介いただき、参加者にとって大変印象深い研修となりました。現在は自家育成を基本とし、搾乳ロボットの活用やおから粕・ビール粕などの副産物飼料を取り入れるなど、日々さまざまな工夫を重ねられています。

今回の視察研修は、酪農に向き合う思いや日々の積み重ねの大切さを改めて感じるとともに、参加者同士の交流も深まる、実りある時間となりました。

お忙しい中ご対応いただきました有限会社トムミルクファームの皆様

に厚くお礼申し上げます。今後もフレッシュユミズでは、地区を超えた交流の場として積極的に活



参加者同志の交流も深まりました!!

動してまいりますので、ぜひご参加ください。なお、今回の視察研修にあたり、(一財) おからく教育振興会より参加助成をいただきました。心より感謝申し上げます。

(おからく女性部フレッシュユミズ一同)



ダイジェスション・アナライザーとは…

皆さんは、この器具をご存じですか？

「ダイジェスション・アナライザー」は、乳牛の飼料の消化効率を評価・分析するための世界共通の器具です。

☆仕組み☆：異なるサイズの穴が開いた複数のふるい（篩）がセットになった構造をしており、採取した牛の糞便を最上段のふるいに乗せ、シャワーで洗い流します。

☆用途☆：洗い流されずに各ふるいに残った内容物（未消化の飼料片や繊維など）の量や状態を目視で評価します。

☆目的☆：1) 糞便分析

消化されずに残った未消化の繊維や穀物等の量を視覚的に確認

2) 飼料評価

糞に残った未消化物の状態から給与している飼料が適切に消化されているかを判断

3) 健康状態の把握

消化効率をチェックすることで牛の第一胃（ルーメン）の健康状態やアシドーシス（消化不良による病気）の兆候等を早期に把握

4) 飼養管理の改善

分析結果に基づき飼料の種類や量、給与方法など飼養管理の改善につなげる

例えばアシドーシスの場合、次の5つの異常が糞に現れます。

- 荒い粗飼料片が認められる
- 未消化の穀類が認められる
- 粘膜（ムチン）が混じる
- 糞中に気泡が混じる
- 下痢

上段、中段、下段の通過穴の違いによる3段スクリーン構造

各段の残渣物と未消化部の目標値		
上段	未消化の繊維、穀類	長い粗飼料のみで10%以下、泌乳初期なら20%以下
中段	まだ消化余地のある繊維、穀類	20%以下
下段	消化された残渣	50%以上が望ましい

ダイジェスション・アナライザーを使用した分析で、糞のより詳細な状態や飼料消化率（利用効率）、ルーメンの健康と飼料の問題点を確認・把握し、健康状態を改善することができます。

スクリーニング結果の事例原因の可能性

上段及び中段に穀類の大きな粒子がある	上段及び中段に過剰な粗飼料がある
• 穀類の不適切な加熱処理	• ルーメンマットの形成不全
• 穀類の過剰給与	• 粗飼料の品質が良くない
• TMRの選り食い	• 急な飼料変更
• ルーメンマットの形成不全	• 分解性たんぱく質が不適切
• ルーメン・アシドーシス	• 発酵するNFCが不適切
	• バイパス性脂肪が過剰
	• ルーメン・アシドーシス

※使用にあたっては飼料の栄養設計の確認と改善、健康状態の把握、機能的飼料の効果測定等、定期的に変更すると良いでしょう。

おからくでは、この器具を常設していますので、最寄りの事務所までお問合せください。

(事業本部)



J A フレッシュユミズ交流会・バター作り

令和7年12月19日、J A岡山県女性組織協議会とJ Aグループ岡山の主催による「家の光クッキングフェスティバル岡山」が岡山コンベンションセンターで開催されました。

このイベントは地元の食材を活かしたクッキングフェスタを通じて、普段交流のない他団体との連携を深め、一般消費者に岡山県の農畜産物をPRすることを目的としています。

おからくは一般来場者とフレッシュユミズの合計約100名を対象に「バターを作ってみよう」というコーナーを設け、バター作りを体験していただきました。「生クリームが入った容器を振り続けてください」と説明すると、最初は「えー！大変そう！」という声も上がりましたが、短時間でバターが完成しました。

できあがったバターはクラッカーに乗せて食べたり炊き立てのごはんに乗せ、醤油を垂らしたバターごはんにして食べていただきました。

体験者からは「牛乳の甘みがわかりますね」「生クリームからバターが作れるなんて知らなかった！勉強になりました」という声がありました。

た。

このほかにも、参加団体による物販売コーナーやテレビで活躍されている料理研究家の藤井恵さんによる、地元食材を使った【晴寿司】のクッキングショーや紙コップを使用したシヤカシヤカおむすび体験、米袋を使用したバッグ製作体験など盛りだくさんの内容でした。

今後関係団体と協力して、一般消費者の方に酪農や牛乳乳製品について魅力を感じてもらえるよう、積極的に理解醸成活動に取り組んでいきたいと思えます。



(生乳課)

酪農政治連盟美作支部・議員懇談会

1月15日、「酪農政治連盟美作支部・議員懇談会」が津山市内の割烹旅館宇ら島で開催されました。

岡山県議会から市村仁氏、山本雅彦氏、河野慶治氏、清水薫氏、本山紘司氏、松島幸一氏をお迎えし、おみやま酪農業協同組合代表理事組合長檜尾康知氏から、近年の酪農情勢を説明いただき、先日の岡山県からの1頭9,000円助成について感謝をお伝えし、さらなる支援を求めました。岡山県酪農政治連盟の三宅穰次委員長からも、県議会に対しての感謝の気持ちとさらなる支援をお



懇談会のようす

伝えました。蒜山酪農農業協同組合代表理事組合長恒充氏からは、蒜山地域の情勢をお伝えし、蒜山地域の酪農の将来性の不安をお伝えしました。各県議会議員からは、しっかり受け止めたいなど力強いお言葉をいただきました。

美作支部からの要請事項は、「初妊牛導入への助成」「中古機械導入への助成」「牧草種子購入への助成」「酪農ヘルパー(牧場従業員含む)の人材確保」の4点であり、人材確保には外国人の受け入れ体制と中国四国酪農大学校施設へのインターン受け入れ態勢の整備をお願いしました。

その後の懇親会では、要請事項の背景や問題点の詳細、その他の困りごとなど県議を囲んで直接お伝えし、実現可能な対策の提案をいただきましたながら討論を重ねることができました。

美作支部として今後とも積極的な要請活動を行い、持続的な酪農経営の実現を目指していきたいと考えています。

最後に、ご多忙の中ご出席いただきました県議団の皆様には厚くお礼申し上げます。

(岡山酪政連美作支部事務局)



フードバンク岡山へL1牛乳の無償提供

中販連では不要期における消費拡大対策として、無償提供事業を展開しています。この事業は、脱脂粉乳・バター等向け生乳の処理抑制及び在庫の積み増し回避等のために行われています。

約6・5t分(31,200本/200ccパック相当)が中国管内6会員へ配布され、そのうちの7,200本をおからくからフードバンク岡山を通じて「NPO法人オレンジハートつやまの家」へ無償提供さ



せていただきました。

オレンジハートでは子育て支援の一環として放課後の子どもたちを預かり、学童保育等を行っている一方、学童や福祉施設へ食料品等を配布するといった活動をしておられます。「いただいた牛乳は学童でおやつに提供したり、デザートを作って食べてもらっています。また、社会福祉協議会を通じてたくさんの方に提供させていただきます。物価高騰の状況下で、栄養価の高い牛乳の提供は大変ありがたいです」と謝意を述べられています。

無償提供のようす

L1牛乳は新鮮な生乳を100%使用した牛乳で、生乳を無菌充填しており、賞味期限が約60日と大変長い製品です。この事業を通じて、より一層の酪農に対する理解醸成と消費拡大につながればと関係者一同願っています。

(生乳課)

3事務所運営委員会交流会開催

1月23日、「備南・びほく・西大寺事務所運営委員会の交流会」が瀬戸内市牛窓町「瀬戸の華」で、それぞれの地元役員を迎え総勢25名(事務局を含む)の参加をいただき、開催されました。

西大寺事務所運営委員会の服部委員長の開会挨拶に続いて、安富代表監事の最近の酪農情勢について話がありました。乾杯のあと、終始賑やかな雰囲気での交流会となり、最後に恒例の記念写真を撮りました。

県南3事務所において機構改革や3事務所合併の話題もあり、厳しい酪農業界も続いています。一致団結して盛り上げていきましょうと一本締めで締めました。運営委員の皆様におかれましてはお忙しい中、参加して

いただきました。ありがとうございました。(西大寺事務所)



交流会の参加者の皆さん



令和7年度「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会」優良賞作品
岡山県立邑久高等学校1年 出射 遥さんのアイデアレシピ

サバ缶と切り干し大根のみそクリームスープ



★材 料 (4人分)

- 牛乳……………200ml
- サバの水煮缶……………1缶
- 生姜のすりおろし (チューブ)
……………大さじ1
- みそ……………大さじ2
- 水……………400ml
- にんじん……………1/3本
- 小松菜……………1袋
- 切り干し大根……………30g

★作り方

- ①切り干し大根はサッと水で洗って絞り、一口サイズに切り、身を解したサバの水煮缶を汁ごとボウル等に入れ、混ぜる。
- ②鍋に水・生姜のすりおろし・細切りにしたにんじんを入れ、加熱する。
- ③沸騰したら、①と一口サイズに切った小松菜を入れ、加熱する。
- ④みそを溶き入れ、牛乳を加えて、温まったら完成。



は、スプラッシュユパレードが開催され、パレード中に全方向から大量の水が噴き出しびしょ濡れになりながら夏の暑さを楽しむことができます。秋には、1年の中で最大イベント



ひろば

私の大好きな場所

流通課 坂本 彩花

皆様は大阪のユニバーサルスタジオジャパンを訪れたことがありますか。私は、月に数回USJを訪れています。よく飽きないのと聞かれますが、その魅力についてお話いたします。

ここでは、季節ごとに開催されるイベントについてご紹介します。春から夏にかけては、クールジャパンという日本のアニメがパーク内のライドやショーとコラボされるイベントが始まります。あまりアニメに詳しくない方でもパーク内の装飾や迫力に圧巻されると思います。そして夏の期間

(大混雑)であるハロウィンイベントが開催されます。昼のドキドキ可愛いハロウィンから、夜は恐怖のハロウィンを味わうことができます。現実の世界では刺激が少ないと感じている方はぜひ体験をしていただきたいです。そして、冬はクリスマスイベントが始まります。夜はスノーマンショーが開催され、パーク一体がクリスマスの装飾で彩られます。また、1年の中で最も多く新作フードが登場します。フードカートやレストランで冬ならではのご飯をいただくことがこの季節の醍醐味です。いかがでしょうか。まだまだお伝えできていない魅力がUSJには数多く存在します。皆様もぜひお時間ある際に足を運んでみてください。



理事 会 報 告

令和7年11月28日、第307回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

榎尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

令和7年11月6日・7日に実施した上期仮決算に係る監事監査の結果について各監事より報告があった。

次いで総務委員会・業務委員会から機構改革について会議の報告を受けた。その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和7年度生乳需給安定化対策について

令和7年度10月の生乳需給安定化

対策の進捗状況等について報告した。

○搾乳牛導入短期資金（極度額の見直し）の借入について

現在設定している搾乳牛導入資金極度額について更新することとした。

○つなぎ融資資金の借入について（極度額の設定）

現在設定しているつなぎ融資資金の極度額について更新することとした。

○搾乳牛導入資金の長期転化借入について

農林中央金庫より借入している搾乳導入資金を証書借入金に転化することを承認した。

○細菌数適合率向上への取り組みについて

細菌数適合率向上への取り組みについて、内容を確認し、搾乳機器のゴム・パッキン交換に助成を行うことを決定した。

○酪農ヘルパー傷病時利用互助制度

に係る負担軽減額の変更について酪農ヘルパー傷病時利用互助制度に係る負担軽減額の変更について内容を確認し、軽減することを承認した。

○ヨーネ病予備的遺伝子検査の導入について

ヨーネ病予備的遺伝子検査の導入について内容を確認したが、変更点に疑義があるため、再度協議することとした。

○令和7年度良質乳生産対策について

令和7年度良質乳生産対策について内容を協議し、事業を行うことを承認した。

○バラ飼料配送運賃の交渉について

バラ飼料配送運賃の交渉について内容を協議し、各業者との交渉を承認した。

○職員の年末手当支給について

令和7年年末手当の支給について承認した。

○報告事項

経営動態調査について報告した。

した。

○令和7年度生乳需給安定化対策について

令和7年度11月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○令和7年度仮決算に係る監事監査の回答について

令和7年度上期仮決算に係る監事監査に対する回答を協議し、決定した。

○定款及び定款附属書・役員選任規程の改正について

定款及び定款附属書・役員選任規程の改正について内容を協議し、承認した。

○育児休業等に関する規程の変更について

育児休業等に関する規程の変更について内容を協議し、承認した。

○報告事項

新年互礼会について・ブラック&ホワイトシヨウ等の日程について・ヨーネ病検査について・おからく経営理念の再考について報告した。

お 礼

このたび、真庭市 岡本 幸子様より見舞返礼金として、（一財）おからく教育振興会にご寄付いただきました。

事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

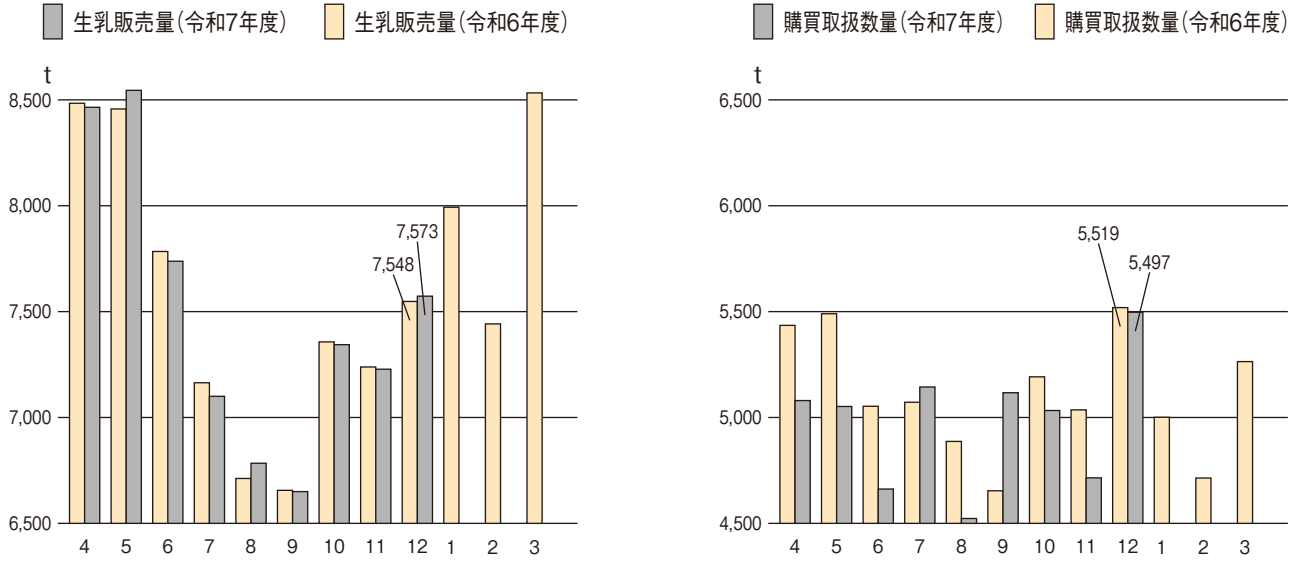
人 事

退職（令和8年1月31日付）

奥野 信介（事業本部流通課）
大変お世話になりました。



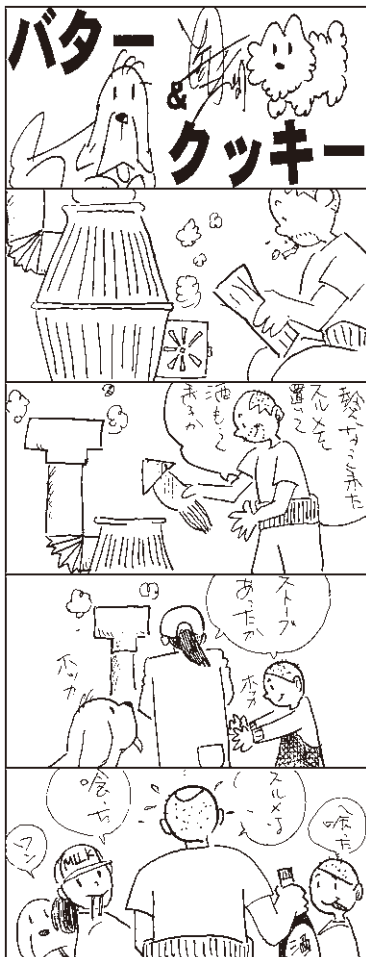
おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	受託乳量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	受託	飲用	乳製品	その他
全国	12	569,761	257,901	167,604	144,256	99.9	98.4	101.9	100.3
	4~12	5,134,153	2,507,427	1,335,412	1,291,282	100.8	98.6	105.7	100.3
岡山県	12	7,573	6,846	584	143	100.3	101.4	88.9	102.9
	4~12	67,428	63,208	3,326	894	100.0	99.7	104.2	110.1
北海道	12	331,491	52,445	140,182	138,864	100.3	96.3	101.8	100.4



主な行事

- 2月**
- 2日 理事会
コンプライアンス研修会
- 3日 備南地区ブロック会議
- 4日 定例監事監査(～5日)
- 9日 西大寺地区ブロック会議
備南地区女性部総会
- 10日 津山事務所運営委員会
蒜山地区ブロック会議
蒜山事務所運営委員会
- 13日 勝英地区ブロック会議
- 19日 業務委員会
総務委員会
- 20日 津山地区ブロック会議
- 24日 びほく地区ブロック会議
- 26日 管理職会議
全酪連・全国酪農協会
理事・監事・職員研修会(～27日)
- 3月**
- 2日 理事会
- 9日 評議員会
- 13日 青年部・女性部
酪農発表大会・総会
- 21日 第10回おからくB&Wショウ
- 23日 管理職会議
- 24日 岡山県酪農政治連盟美作支部大会
- 31日 理事会

北海道初妊牛価格

1月については、初妊牛資源が減少傾向に推移したなか、春分娩中心の出回りととなり、初妊牛平均価格は税込77万3千円(前月比9万5千円高・前年比18万2千円高)と値を上げて推移しました。

2月については、出回り頭数が減少傾向に推移することが見込まれるなか、引き続き春分娩中心となることから、初妊牛相場は、強含みでの価格展開が予測されます。